



hito.communication

川口まさやレポート

NO1

発行 川口まさや後援会 TEL0297-83-3617 fax0297-83-3641



URL kawaguchimasaya.com e-mail info@kawaguchimasaya.com

今、県南の 未来に向けて 飛び立ちます

- 今こそ改革の時 -

戦後最大の大不況といわれる中、50年に渡り政権を握ってきた自民党に代わり民主党政権が誕生しました。相変わらず不安定な政治が続いていますが、この国は戦後最大のターニングポイントを迎えています。

しかし、県の政治はどうでしょう？相変わらず自民党による一党支配、しかも一握りの議員による独裁体制が旧態依然として続いています。

この体制が後進県と言われる茨城県の発展に大きな歯止めをかけています。

茨城県は観光地としても農産物産地としても大きなポテンシャルを持っていながらそれが生かされてはいません。

県政のあり方でこの地域は大きく変わります。そして、人が変われば政治は変わります。今こそ新旧交替、茨城県政改革の時です。

弱者の為にこそ政治は存在する

日本という国を見ても医療と教育がOECD参加国内でも低いのがわかります。

かつての日本は住宅に比べ学校は立派で教育水準は高く、その教育が今の日本の礎になりました。

ところが今の教育総予算の比率はOECDの参加国内で最下位(07年度)、そして同じく医療においても31か国中22位という低順位に甘んじています。

高齢化の進んだ日本、その中で命に予算を使わない国であることに大きな怒りを感じています。

障害者自立支援法、後期高齢者医療、老健、特養、長期療養病床、老老介護、介護難民、リハビリ難民など信じられない非人道的な現状にあります。

県は国にこの現状を伝えると共に、県として私たち県民が生活するのに最低限度必要なフォローをするのが県の政治の役目ではないでしょうか。

大きなターニングポイントを迎えた日本、今こそ県も国や個人のための県政ではなく県民の為に県政を確立すべき時期であると確信しています。



知ってほしい県政の重要さ

残念ながら投票率をみても県政への関心は高いものとはいえません。県政のあり方が地域にどれだけ大きな変化をもたらすかをこのレポートで知っていただければと思います。

県南・取手北相馬地域発展のための課題と提案

県南、特に取手北相馬地域は茨城県の玄関口といわれながら、発展のテンポは遅く、最近は人口も減少傾向にあり、その上、もろに少子高齢化の影響を受けています。又、農地が多く農地法をはじめ様々な規制を受けているため、産業の新規参入も難しく、居住可能地も少ない。道路ネットワークも悪く、取手駅は駅勢圏人口も集めきれないだけでなく、中心市街地からスーパーが撤退するという、まさにターミナル駅とは程遠い状況にあります。

東京のベッドタウンとして発展した県南・取手北相馬地域には就業の場がなく、いわゆる茨城都民と言われる地域となっています。

この様な環境の中で、若い世代は通勤に便利な仕事場に近しい都内のマンションに住まいを移す。こうして県南は若い世代の流出と高齢者の街が進行してきました。

企業がない、担税者がいないということは法人税も市民税も減収します。これは自治体経営には致命傷なのです。

今のような状況から県南・取手北相馬地域が抜け出し、自立都市として発展するためには多くの課題に取り組まなければなりません。

以上の様々な課題の解決には法との整合性など問題は残されていますが、都市計画、土地利用計画等の変更やみなさんの御協力により実現は可能です。
みなさんとの合意形成を進め実現して参ります。



- 身長 176cm.
- 体重 68kg.
- 趣味 旅行・読書
- 血液型 A
- 家族 母・妻・子供2人
- 星座 蟹座
- 特技 英会話



提案①

ベッドタウン方式の街づくりを転換し、**企業誘致を進め職住近接都市**をめざし若年層の定着化を進める。

提案②

若い通勤共働きの子育て支援を強化し、**保育園、子育て支援センター**等、新築、改築時には、可能な限り駅周辺に建設する。

提案③

通勤者の利便性改善のため、**常磐線の東京駅乗り入れの早期実現、快速電車の藤代駅乗り入れ**を促進する。



提案④

道路ネットワークを整備し**取手東線、美浦栄線の整備を促進**する。

提案⑤

商店街を活性化し、高齢化社会に対応した**近くで買い物ができる商店街**を中心とした街づくりを進める。
商店の**ネット販売、宅配販売**を進める。

提案⑥

食の安全と安定供給のための生産から販売まで**農業技術指導員を養成し配置**する。

提案⑦

地産地消を進め、**農産物や地場産品の直売場**開設。



提案⑧

農地の多目的利用をはかり、農業への新規参入も含め、**農村地帯への菜園付住宅**（日本版クラインガルデン）の建設など可能な規制緩和を進める。

提案⑨

病院と消防署のネットワークを整備し、**緊急搬送システム**を確立する。

提案⑩

ヘルパー、介護士などの養成機関を整備し、待遇改善を図り、**介護従事者不足を解消**する。

川口まさや

昭和32年6月25日

つくば市生まれ

日本大学法学部卒

西武百貨店入社

川口自動車株式会社取締役

取手市商工会理事

社団法人龍ヶ崎法人会理事

元取手市六郷小学校PTA会長

藤代ギャラリー代表

ロータリークラブ所属

県政改革フォーラム代表

第13回東南アジア青年の船参加

(アジア7ヶ国を訪問)

profile